

教 師 ノ ー ト

日付	2014年 6月 8日
単元	ペンテコステ
テーマ	聖霊のバプテスマ
タイトル	ペンテコステ
テキスト	使徒2:1-13
参照箇所	使徒2:14-42、マタイ3:11、マタイ28:16-20、ルカ11:9-13、ヨハネ7:14-16
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒1:8

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

[小下1巻3題8課](#)、[小上3巻1題2課](#)、[中1巻2題4課](#)、[中3巻2題6課](#)

□ 導入

復活されたイエス様は、天にお帰りになる前、弟子たちに約束をなさいました。それは「聖霊があなたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます」というものでした。

この約束はユダヤ人の祭りの日に、かなえられました。いったいどんなことがおきたのでしょうか？聖書からみていきましょう。

□ ポイント1 弟子たちは集まって祈っていました

イエス様が天にお帰りになった日から、弟子たちは、エルサレムで泊まっていた家の二階の部屋で、こころを合わせて祈っていました。弟子たちはイエス様が約束なさったことを信じて、待っていたのです。

□ ポイント2 弟子たちに聖霊がくだりました

ちょうどユダヤの人たちの『五旬節』という春の収穫祭の日のことでした。このお祭りは、過越しの祭りから数えて五十日目のお祭りで、ギリシャ語では『ペンテコステ』と言います。ユダヤでは三大祭りの一つです。他の国に住んでいたユダヤ人たちも、この祭りのために大勢エルサレムに帰ってきていました。

弟子たちは、この日もいつものように一つになってお祈りをしていました。

突然でした、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、弟子たちの座っていた家全体に響きわたりました。そして、舌のようなものが、炎のように分かれて現れ、弟子たち一人一人の上にとどまりました。するとどうでしょう。そこにいたすべての人が聖霊に満たされ、聖霊の導かれるままに、ほかの国のことばで話したのです。

これは聖霊のバプテスマを受けたことを示す神様のしるしでした。

□ ポイント3 人々はビックリしました

この時エルサレムには、お祭りの最中でしたから、他の国からもたくさんの人たちが帰ってきていました。彼らは大きな物音がしたのでみんな集まってきました。

「いったい何がおきたんだ？」と弟子たちのいる家に集まってきたのでした。

するとどうでしょう、イエス様の弟子たちが、他の国の言葉で神様を賛美していました。外国から帰ってきていたユダヤ人は、それを聞いてあつけにとられました。そして驚き怪しんで言いました。

「これはいったいどういうことだろう。いま話している人たちはみんな、ガリラヤから来た人たちではないか、彼らに外国語が話せるわけがない。それなのに、私たちがそれぞれ使っていることばで話している。」

「私たちの中には、それこそ、いろいろなところから人が集まっているのに、彼らはユダヤ以外のそれぞれの国の言葉で、神様についてすばらしいことを話している。」

「いったい何が起きているんだろう。」「なんでこんなことがあるんだろう。」

みんなは驚いて互いに言い合いました。

しかし、ある人たちはバカにして言いました。「あの人たちは、ぶどう酒でも飲んで酔っ払ってるんじゃないのか」

しかし、弟子たちは、ぶどう酒を飲んで酔っていたわけではありません。また、でたらめなことばを話していたのでもありませんでした。

それぞれの国のことばで、神様の大きな働きを話していたのです。

□結論 イエス様の約束どおりに聖霊が与えられました

イエス様は、天にお帰りになる前、弟子たちに約束をなさいました。それは「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます」という約束でした。

イエス様が約束なさった聖霊が、弟子たちにこのような力を与えました。また弟子たちに、「聖霊が臨まれる」ということがはっきりとわかるように、このようなしるしが与えられたのです。

イエス様の約束には「力を受けます」とありますが続きがあります。それは「エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」です。

弟子たちは、大きな力を神様から頂いて、このあとイエス様のことを、大胆に多くの人たちに伝えるようになるのです。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

イエス様は約束を必ず守られるお方です。もし今日のお話しの弟子たちのように、聖霊を求めて待ち望むなら、神様はみんなに聖霊を与えて満たして下さいます。あなたもお祈りをしませんか？

※ペンテコステの礼拝です。今日はいつもの礼拝よりもお祈りの時間を長くとってみましょう。

📌メッセンジャーが理解しておくこと

- ・異言は聖霊のバプテスマの証拠です。つまり異言が目的ではなく、聖霊に満たされることが目的です。
- ・神さまの導きを感じたら、恐れずに聖霊を待ち望む祈りをしましょう(強制的にはなく)。
- ・小学生も聖霊のバプテスマを受けることができます。

1. かならず牧師先生にいっしょに祈っていただきましょう。
2. 異言をともなう聖霊のバプテスマを受けた人には、聖霊に満たされて日々祈り続けること、御霊の実を結ぶことの重要性などを伝えましょう。
3. 聖霊のバプテスマを求めて祈ったけれど、異言で祈れなかった人には、聖霊に満たされることが目的であることを伝えましょう。イエスさまを信じたとき、すでに聖霊は内に住んでくださっているのです(1コリント12章、使徒19章)。あきらめずに祈りましょう。
4. 聖霊のバプテスマを求めて祈ることができない人には、その理由を確かめフォローしましょう。
例: 異言のことがよくわからない、聖霊に助けてもらいたいと思わない、怖い・気持ち悪い・・・など。